

将来の都市イメージ

市基本構想で定めた将来都市像 『豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民が真の豊かさを実感できるまち「みんなでつくろう価値ある流山」』 の実現に向け、後期基本計画では具体的な都市のイメージを

『 都心から一番近い森のまち 』

とします。これは、人にも自然にも優しいまち、都心から一番近い便利で心やすらぐ森のまちを表したものです。

歴史や文化を大切にするとともに、つくばエクスプレス（以下「TX」といいます。）開通により都心と 20 分台で結ばれた効果を最大限に活かすまちづくりを推進し、一方では、県立市野谷の森公園や運動公園などの残された緑を守り、グリーンチェーン戦略※や市街地内CO₂吸収源倍増事業の展開などにより失われた緑を回復させ、緑豊かなまちを実現します。



イベントで賑わう流山おおたかの森駅前



市民の力で残された市野谷の森



流山市の大動脈となった TX

※グリーンチェーン戦略

本市の豊かな緑と、住宅の庭先の緑をつなげることによって、緑豊かな環境を創り、街全体の価値を高め「都心から一番近い森のまち」を目指すもの。